

# 手賀沼が海だったころ

## 活動報告 10月～3月

### ●10月22日（日）平成29年度第6回歴史講座 『江戸開府前後の謎と東葛』開催

戦国時代を経て、慶長8年（1603年）に徳川家康が征夷大将軍に任命され、江戸に幕府を開府し長い江戸時代が始まるのですが、この江戸開府前後には、様々な謎も存在します。特に東葛地域では、長く地域を支配していた北条氏が滅んでからは、北条氏配下の武士たちがどうなったのかは、あまり知られていません。そこで、こうした謎を一緒に考察してみようというのが、今回の歴史講座でした。



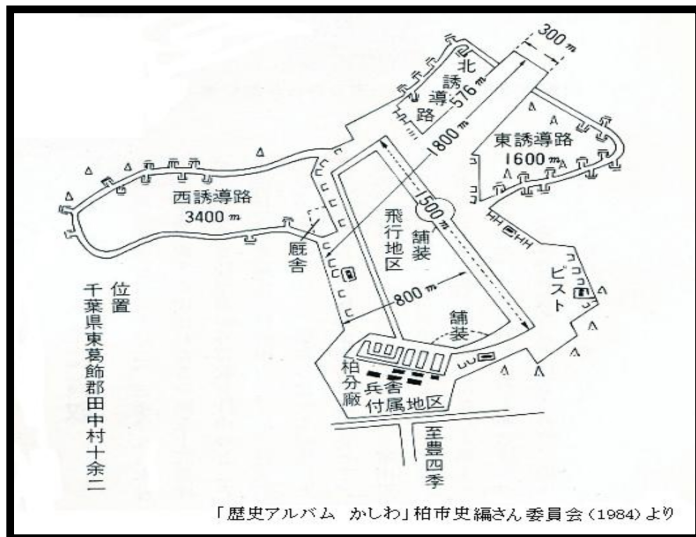
↑当会会長の解説に、真剣に聞き入っている参加者の方々。戦国時代のファンの方はたくさんいらっしゃるので、ご来場もとても熱心なようですよ。

戦国時代から江戸時代へと移り変わるこの時期は、歴史ファンの間でも人気のある時期の一つ。そのため、今回も多くの熱心な参加者がいらっ

しかったです。

今回の講座で、少しは皆さんの謎が解かれましたでしょうか？

### ●平成29年度第7回歴史講座 12月17日（日）『柏飛行場跡見学会』 & 12月24日（日）『関連映像上映会』開催



開催することに反響のある「柏飛行場跡見学会」ですが、今回もお天気にも恵まれ、たくさんの参加者を得て開催さ

れました。

まずは柏の葉公園の公園センターに集合していただき、少しばかりの解説を。その後、



↑飛行場の正門跡にあった説明看板を熱心に見入る参加者の皆さん。



→小さな痕跡も見逃さないよう、皆の真剣でした。

約2時間をかけて飛行場跡地をめぐりました。

また、後日開催の関連映像の上映会も大好評でした。

## ●11月19日（日）平成29年度お城祭り開催!



↑昨年に引き続き今年も参加して下さった「おおたかの森お囃子会」の皆さん。今年も大好評でした。

今年は天候にも恵まれ、無事賑々しくお城祭りを開催できました。

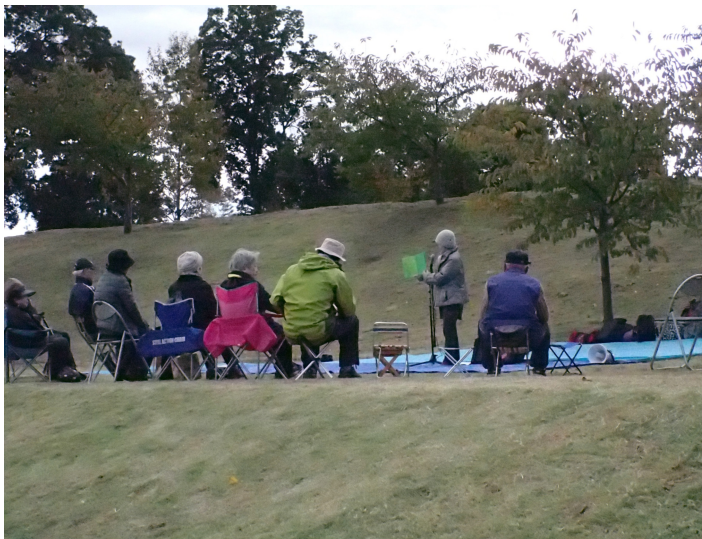
今回も城跡の見学会を行ったほか、昨年も好評だったお囃子会の皆さんの楽しいステージや、ブックスズキさんやコットンプロジェクトさんの出店、有志による焼き芋や雑貨などの販売と盛りだくさんのプログラムでした。

たくさんの参加者の皆さん、準備や片づけを手伝ってくださった皆さん、楽しい時間の共有ありがとうございます



↑毎年のように参加して下さっている茗荷さん。今年も三味線の弾き語りで、松ヶ崎城のことをうたってくださいまし

↓絆：福島支援柏コットンプロジェクトさんは、ブラウンコットンで作ったマスコットを持って参加してくださいました。かわいらしいマスコットは子供はもちろん、大人にも人気でした。



↑絵本専門のブックスズキさんも連続で参加してくださいました。今回は、ステージでの朗読も。素敵な絵本に皆さん魅了されていました。

## ●11月12日（日）お城祭りの準備

お祭り本番の一週間前、参加者同士の交流を楽しみながら、上り旗を立てたり、見学通路の草取りをしたり、さらには周辺住民の方々へチラシを配ったりという「準備活動」が行われました。

この準備に参加したのは幹事の他、すぐ近くに住む会員の方、里山の管理に詳しい会員の方などなど。作業自体は約1時間くらいでしたが、皆さんお忙しい中楽しんでのご参加、ありがとうございました。

来年もお祭りは開催予定です。幹事会では、ぜひ多くの会員の皆さんにご協力参加をいただき、楽しい時間を共有したいと思っております。



●1月28日(日)平成29年度第8回歴史講座  
『戦国合戦の謎～桶狭間、長篠、そして東葛～』開催

→設楽原合戦場跡に再現されている模擬馬防柵



戦国時代の様子を伝える資料はたくさんありますが、本当に史実を伝えているものはどのくらいあるのでしょうか？

近年の多くの研究者の成果から、新たな事実が色々とわかってきています。もちろん、それは東葛地域の様子も例外ではありません。

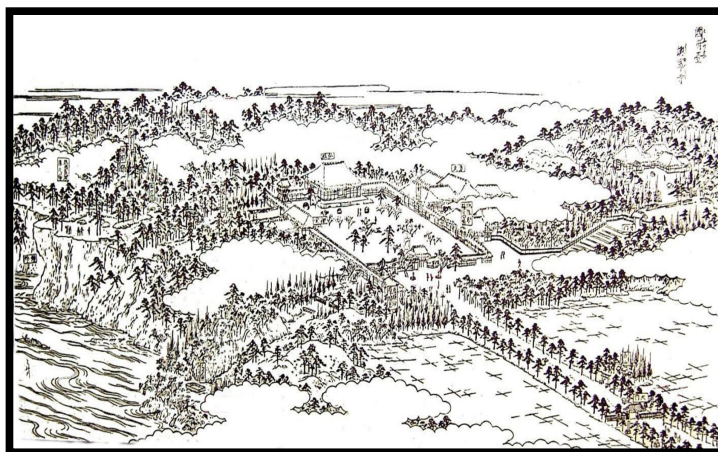
そこでこの日は、桶狭間や長篠の合戦はもちろん、東葛地域で行われた境根原合戦や、市川国府台で行われたという後北条氏の軍勢と小弓公方の軍勢の戦い、あるいは後北条氏と里見氏の戦いについても、果たして伝わっている合戦の様子は史実なのか、ということを中心に講座を行いました。

参加者は、皆さん熱心に耳を傾けていました。

●2月25日(日)平成29年度第9回歴史講座  
『続・戦国合戦の謎～下総の合戦と城～』開催

前月に続いて戦国時代の謎に迫ったこの日、テーマの中心は戦国後期の下総地域の出来事でした。前回同様、合戦の史実について考えるとともに、合戦に関わった城郭についても解説。

今回も、皆さん熱心にご参加いただきました。



↑国府台合戦の合戦城跡には、総寧寺というお寺が建立されている。(江戸名所図会より)



↑わずかに残る手賀城跡。



←生実城跡とされる場所は、現在では田圃となっている。

## 幹事会からのお知らせ

何とか平成29年度の予定していた活動は全て無事開催することができました。これも会員の皆様のご協力があった事です。ありがとうございました。そして、3月の少しばかりのお休みを頂いた4月からはいよいよ新年度が始まります。幹事会のメンバーが変わったりするかとは思いますが、会員皆さんで作っていく会ですので、これからも会の活動にぜひ積極的にご協力ご参加いただけたらと思っています。

皆さんのご意見を反映させるためにも、下記の通りに総会を開催いたしますので、ぜひ万障繰り合わせの上、ご参加ください。総会の参加費は無料です。もちろん、総会の後は恒例の歴史講演会や親睦会を開催いたします。

新年度も一緒に歴史を楽しみましょう！

開催日：4月22日（日）

スケジュール予定：

午前10時～；平成30年度総会

午後1時半～；歴史講演会

開催場所：京北ホール

千葉県柏市千葉県柏市千葉県柏市1丁目4-3 京北ビル 6F  
(柏駅東口を出て徒歩1分 KEI HOKUスーパーの上)

### <歴史講演会の内容>

## 戦国時代など中世のお城の実像とは？ 松ヶ崎城とは？ 「縄張り図から見る中世城郭の実像と松ヶ崎」

戦国時代など日本の中世には、全国各地城郭が築かれました。

しかし、当時の文献などに書かれている城跡は少なく、

その成り立ちなどを調べる手がかりとなのが、

お城の図面である縄張り図です。

そこから中世城郭の実像を知ることができます。

松ヶ崎城も含めた中世郭の実像とは？

中世城郭に関する著書もある、第一人者に語っていただきます。

講師：田嶋 貴久美氏（中世城郭研究会）

参加費：300円（資料代）会員外も参加可。

※歴史講演会終了後、懇親会もあります。（懇親会費別途）



## 情報広場

このコーナーでは、会員の皆様から寄せられた情報や、編集部が見つけた情報等、様々な情報をご紹介します。

### ●明治維新150年記念イベントが全国で開催中！

今年は明治維新からちょうど150年ということで、全国各地で幕末・明治維新関連イベントが開催されています。その予定などは、内閣官房の特設サイト「内閣官房明治150年関連施策推進室公式サイト」で常時紹介されているほど。もちろん、イベント内容の詳細は、各地、各イベントの公式サイトを要チェックです。ですので、ここではほんの一部のイベントを紹介したいと思います。

昨年今年と、幕末明治維新好きにはたまらない期間になっています。

#### <企画展『大河ドラマと黎明館資料』開催中！>

現在放送中の大河ドラマの主演が西郷隆盛だということもあり、鹿児島県内では様々なイベントが企画されています。その中の一つが、鹿児島県歴史資料センター黎明館で開催されてい

る企画展です。鹿児島県ゆかりの歴史資料を収集している黎明館で、今回は特に大河ドラマに関連した歴史資料の数々を展示するという企画展です。途中展示替えもありますが、8月26日までという長期にわたる展示会です。鹿児島に行く機会のある方は立ち寄ってみてください。

#### <志国高知幕末維新博>

坂本龍馬など、幕末維新に名を遺した偉人を多く輩出した高知県では、偉人ゆかりの地など、高知県内24の歴史文化施設などで貴重な歴史資料の展示や、海から桂浜を望むクルーズも予定されています。こちらにも公式サイトがあるので、高知に行く機会のある方は要チェックです。

ちなみに、リニューアル工事中だった坂本龍馬記念館は、今年4月21日にオープンの予定です。

#### <やまぐち幕末ISHIN祭>

山口県観光連盟では、幕末維新150年を記念して県内で開催される様々なイベント情報などを集約した公式サイトを、高杉晋作を公式キャラクターとして開

設しています。例えば古地図を片手にまちを歩こうと呼びかける「NPO萩まちじゅう博物館」主催の史跡散策イベントや、毛利博物館（防府市）で6月から開催される『毛利敬親の藩政改革展』などなど、山口県内のイベントはもちろん、グルメ情報や宿泊情報も公開するなど、有益な情報が盛りだくさん。山口県に行く予定がある方は、ぜひ出発前に確認してみてください。

#### <観光マップ「新選組 土方歳三と幕末の宇都宮ヘタムスリップ」配布中>

幕末維新で沸くのは、もちろん西日本だけじゃありません。朝思ひ立って行ってこれる宇都宮でも、新しい観光マップが作られ、現在配布中です。これを片手に、宇都宮市内を回ってみるのもいいかも。

製作は宇都宮の魅力向上などに取り組む市民グループ「黄ふな愉快プロジェクト」で、配布は宇都宮市内のアンテナショップ「宮カフェ」で印刷したものを、そしてデータは宇都宮新選組司好会の公式ページで行っています。

幕末維新に興味のある方は、まずはネットで検索してみてください。

●『アラビアの道—サウジ  
アラビア王国の至宝』展開  
催中！

上野にある東京国立博物館では、古来より様々な人や文化が交流してきたアラビア半島でも最も重要な国であるサウジアラビア王国の至宝を日本で初公開する展示会を開催中です。100万年以上前にさかのぼるアジア最初の石器、5000年前に砂漠に立てられた人形石柱、ヘレニズム時代やローマ時代に賑わった古代都市からの出土品、イスラームの聖地マッカ（メッカ）のカアバ神殿で17世紀に使われた扉、サウジアラビア初代国王の遺品（20世紀）など、400件以上の貴重な文化財が一度に見られるのはとても貴重です。

この企画展は、5月13日までです。

●『世界の眼でみる古墳文化』展開催中！

佐倉市にある国立歴史民俗博物館では、2019年の第1展示室[先史・古代]のリニューアルオープンに先立って、日本の歴史と文化の最大のシンボルともいえる古墳を、世界の先史モニュメントと比較して特質をあぶり出し、その主人公とし

て葬られた王の姿を出土品などから復元しようという企画展が開催中です。

世界中にある先史モニュメントと古墳を比較するという試みは、あまり聞かれないものなので、古代史に関心のある方には、興味深い展示会なのでは？

展示会は5月6日まで。

●企画展『時代小説と深川』  
開催中！

江東区にある深川江戸資料館では、現在深川を舞台にした時代小説を通じて江戸時代の深川の暮らしや風景を探るといふ展示会が行われています。時代小説の歴史や背景、そして深川ゆかりの作家についても展示されているので、時代小説のファンだけじゃなく、江戸時代の庶民の生活に興味のある方にも楽しめる展示会です。

この展示会は11月11日までです。



編集部より

早いものでいつの間にか3月になり、早い所からはもう桜の便りが届いています。松ヶ崎城跡の河津桜も、今年も見事に咲いたようです。皆さんと集まってお花見をしたかったのですが、なかなか難しいですね。

さて、藤田の個人的な事情により、次号から編集人が交代いたします。その引継ぎのため、しばらくの間は投稿の受付を、事務局または会の公式サイトへのメールでお受けすることになりました。

原稿受付先が変わっても、投稿内容に変更はありません。個人的にまとめた研究論文はもちろん、旅行記やイラスト・写真、エッセイや小説など、幅広いジャンルの原稿を皆様から募集しております。その他、イベント情報等もありましたらぜひお教えてください。

最後になりますが、この会報が、これからも会員全員で作っていく、会員相互の交流ができる会報であってほしいと思っています。お手伝いできる時には、積極的に参加するつもりですので、皆さんもぜひよろしくお願いたします。

（藤田 理恵子）

手賀沼が海だったころ

手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会報 第37号 2018. 3. 10

発行人：森伸之 編集人：藤田理恵子

年会費：2千円 振込先：千葉銀行 柏支店 口座番号：3461475